

# 令和8年度淡路島総合観光戦略アクションプランにかかる主要な取組（案）

## 1 推進戦略1（商品戦略①:物語化）

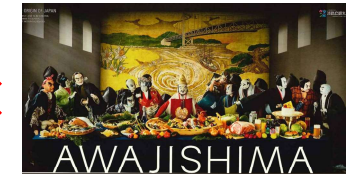
※【★】関空及び神戸空港関連淡路地域振興事業

「選ばれる観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発

### 【拡】(1) 歴史・産業・食の魅力を活かした体験型コンテンツの磨き上げ

- ① 神戸・淡路地域の「食の魅力」を活かしたガストロノミーコンテンツの造成
- ② インバウンドを含め、満足度を向上させるコンテンツへの磨き上げ

【神戸・淡路地域の食の魅力を活かしたコンテンツ造成】



### 【新】(2) 瀬戸内エリアとの連携による芸術・文化を活かした周遊促進

- ① せとうちDMO等と連携した広域観光周遊を進める。
- ② まちなみにアート要素を導入し、新たな価値を創出することで、来訪動機の強化、観光地としての魅力向上を図る。

【淡路人形浄瑠璃】



【あわじアートサーカス】



### 【拡】(3) 体験型コンテンツによる誘客強化

- ① 淡路島ならではの本物体験HPの多言語化(中国語、韓国語)
- ② グローバルOTAへの参画
- ③ SNSを活用した情報発信による淡路島の認知拡大【★】

【グローバルOTA】



【SNSを活用した情報発信】



### (4) 淡路島カルチャーアテンダントの活用

- ① 淡路島ならではの本物体験の現場での通訳やサポート
- ② 淡路島カルチャーアテンダントプレミアム(英語スルーガイド)・淡路島旅先案内人(日本語ガイド)の育成・認定

【淡路島カルチャーアテンダント認定者】



## 2 推進戦略2 (商品戦略②:高付加価値化)

「京阪神以外からも選ばれる観光地」を目指し、首都圏等遠隔地発のシェア拡大に向けた誘客の促進

### 【新】(1) 世界に誇る食のエリアとしてのブランド価値の向上

食のエリアとして世界に向けて効果的な情報発信ができる仕掛けとして、インバウンドの誘客拡大に繋がるクライテリアの獲得によるプロモーションの実施

【世界に誇る食のエリア】



### (2) 首都圏・インバウンド等を対象としたキャンペーンの実施

- ① 首都圏のDMCや旅行会社などを招聘したファムトリップの強化【一部★】
- ② 国内DMCとのネットワークイベントに加え、香港の現地メディアや旅行会社とのネットワークイベントの開催【一部★】

【ファムトリップ】



【ネットワークイベント】



### (3) 満足度・特別感を感じられるコンテンツのさらなる磨き上げ

既に造成した体験コンテンツを富裕層インバウンドを意識した特別感のあるコンテンツへの磨き上げ

【セリ体験】



【ホテルでの提供】



### (4) AWA J I 島博のレガシーを継承する事業の推進

- ① 淡路島ウェブスタンプラリー「島たまGo!」のシステムに新たなゲーム性や観光情報が提供できる機能を追加し、継続展開
- ② 「AWAJISHIMA観光スマートパスポート」の継続販売  
神戸地域等との連携等による販路拡大を検討

【「島たまGo!」のシステム改修内容】

区分	概要
島の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お知らせ情報の発信</li> <li>・淡路島観光情報の定期配信</li> <li>・「ぶらっと淡路島」(電子版)と連動させたスポット情報の充実</li> </ul>
島内における周遊促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム性の更新 (既存キャラクターのレベルアップ、新キャラ追加等)</li> <li>・特定スポット・エリアへの誘導 (ホットスポット表示、ボーナスポイント付与機能追加)</li> </ul>

### 3 推進戦略3 (アメニティ戦略)

「快適に過ごせる観光地」をめざし、円滑な移動や快適な滞在を実現するなど受入環境整備を推進

#### 【拡】(1) マイカー以外の移動手段の取組の推進

- ① 高速バス(京都・大阪等→四国方面)のオープンドア化への働きかけ
- ② カーシェアリング車両置き場拡大への働きかけ
- ③ 神戸市と連携しインバウンドをターゲットに遊覧船を活用した海上ツアーの造成【★】
- ④ 淡路島の人気観光地が多い北部と宿泊施設が多い中南部を結びインバウンドを見据えた観光・移動ルートの実証【★】

【マイカー以外の移動手段】



【インバウンドを見据えた観光・移動ルートの検討】



#### (2) 淡路島MaaSの推進【★】

- ① バスロケーションシステムの導入  
GPS端末を全ての路線バスに搭載
- ② デジタルサイネージの設置  
・ 福良、陸の港西淡に設置  
・ 岩屋PT、洲本BC、陸の港西淡、福良、五色BCの5箇所でコミュニティバス及び路線バスの遅延情報を表示。あわせて観光情報も放映。
- ③ バスシステムのナンバリングの設定  
全てのコミュニティバスの車両と拠点バス乗り場\*の標柱にナンバーを表示  
※広域拠点バス乗り場6ヶ所：岩屋PT、津名港T、洲本BC、陸の港西淡、福良、淡路島南PA  
地域拠点バス乗り場10ヶ所：淡路IC、東浦BT、北淡IC、郡家、五色BC、淡路島中央SIC、洲本IC、シーパ、パルティ、土生港

【バス遅延情報の表示(イメージ)】



#### (3) 「バスモ」のさらなる機能拡充

(2)で整備されたバス遅延情報、バスシステムのナンバリング情報をバスモに表示

#### 【拡】(4) 大鳴門橋周辺環境整備事業

- ① 淡路島南IC付近に300台規模の駐車場を整備し、オーバーツーリズム対策を図る。
- ② 淡路島南PAへ高速バス停を移設し、島外からの新たな交通手段を確保する。また高速バス停と周辺施設をシャトルバスでつなぐ(高速バス停を鉄道の駅と見立て、基幹交通の拠点として、観光と日常に利便性をもたらす公共交通のリ・デザインを図る)。
- ③ 南あわじ市と鳴門市、民間事業者が連携して、大鳴門橋自転車道の両端においてレンタサイクル事業を行う。

【大鳴門橋周辺 駐車場整備】

